

【6月25日】堀口先生による練習曲翻訳

(2017/06/25 日曜日 12:03:41 JST) - 投稿者 webmaster - 最終更新日 (2017/06/25 日曜日 12:05:03 JST)

? 佐藤先生 皆さま ? お世話になっております。 7月17日の練習分までの新曲5曲をまとめて作りしましたので、お送りいたします。 堀口 発音も後日掲載予定です(編集室) ? Lec, saul?te! 昇れ、太陽よ Es 私は esmu …である zemes 大地の kl?pis 子供 tu 君は mana 私の saul ?e 太陽 t? そのように pats 自身 P? rkons 稲妻が L?mis 決めた Likte?upes 運命の川の straume 流れ M?ci 教えて man 私に skaidru 明確な pr?tu 知を zemes 大地の sp? ku 力を k? のように pati 自身で Laima ライマ(幸福の女神)が lika 決めた tinot 編みながら m??a 永遠の rakstu 柄を ? Lec 昇れ saul?te 太陽よ sp?di 輝け spo?i 明るく rot? 飾れ druvu 畑を s? tu 庭を tumsu 闇を š?el うち砕け dari しろ m?su 私たちの zemi 大地を sv? tu 清らかに ? debess 空の velve 丸屋根 dv?sles 心の mieru 平和を puisi 少年を meitu 娘を ? vieno 一つにしなさい visu すべての latvju ラトビアの tautu 民族を ? 僕は大地の子供 君は僕の太陽 稲妻がそう決めた 運命の川の流れ 英知を大地の力を教えてくれ 永遠の絵柄を編みながら ライマが決めたように 太陽よ 昇れ 鮮やかに輝け 畑を照らせ 庭を照らせ 太陽よ 昇れ 闇をうち砕け 私たちの大地を清めてくれ 私は空の丸屋根 あなたは私の太陽 稲妻がそう決めた 運命の川の流れ 心の平和を 空の力を教えて 永遠の絵柄を編みながら ライマが決めたように 太陽よ 昇れ 鮮やかに輝け 畑を照らせ 庭を照らせ 太陽よ 昇れ 闇をうち砕け 私たちの大地を清めてくれ 太陽よ 昇れ 鮮やかに輝け 息子を照らせ 娘を照らせ 太陽よ 昇れ 闇をうち砕け ラトビアの人々を一つにしてくれ 太陽よ 昇れ 闇をうち砕け ラトビアの人々を一つにしてくれ 太陽よ 昇れ 闇をうち砕け ラトビアの人々を一つにしてくれ ? Dziedot dzimu, dziedot augu 歌いながら生まれ 歌いながら育つ? Dziedot 歌いながら dzimu, 生まれた dziedot 歌いながら augu, 育つた Dziedot 歌いながら m??u 一生を nodz?voj', 生き抜いた Kas 歌いながら var 死を mani 目にした aizrun?ti 天国の aizdzied?t 庭で ? Tr?c?j' 震えていた kalni, 山が skan?' 鳴っていた me?i, 森が Kad とき tik ? ただ vien 一人で es 私は dzied?j' 歌っていた ? Saka 言う ? audis 人々は dzird? dami, 聞いて Lakst?gala ナイチンゲールが skaisti 美しく dzied. 歌うのを ? Auni 靴下を履いて k?jas, 足に lakst?gala, ナイチンゲールよ Dz?sim 行こう govīs 牛たちを pagan?t. 放牧しに Tu あなたは dzied?ji 歌っていた ievain?i, うわみずぐらに Es 私が gosni?as 牛たちを gan?dam'. 追っている間 ? ara, gara š naksni?a 長い、夜に Gara 長い š? この naksni?a 夜 par …より vis?mi どんな naksni??m(i) 馬を ? No …? Gaida 待つている mani 僕を l?gavi?a 花嫁が šo この naksni?u 夜を aizejot(i) 出かけて ? Sp?di 輝け M?nesti? 月よ dari しろ gaišu 明るく šonaksni?' 今夜を ? Lai …?どよい redz?ja 見た tautu? Is(i) 若者が atrast 見つける manu 私の istabi?(u) 部屋を ? Vai …? tu 君は gaidi 待つ vai …? negaidi 待たない neaizieš? 外に出ない ? P?rgul?šu 眠る Balt?bola リンゴの木の Kalni?(i) 山で ? Pie …?のところで B?raja 茶毛の kumeli?(a) 馬を ? No …?から sedliemi 鞍 saule 太陽が l?c(a) 昇った no …?から iemauktu 轡 m?nesti?is, m?nesti?š 月 長い 長いこの夜 どんな夜よりも 花嫁が僕を待つ 今夜行こう 月よ 輝け 夜を明るくして 若者は私の部屋を見つけたらどうか 君は待っていているかな 今夜は行かないことにしよう 今夜は寝よう リンゴの木の丘で リンゴの木の丘で 茶色い馬と一緒に 鞍から太陽が昇った 轡からは月が出た 今夜は果てしなく続く どんな夜よりも長く ? 歌いながら生まれ 歌いながら育つた 歌いながら一生をまっとうした 口喧嘩では誰にも負けない 歌でも誰にも負けない 山が震えていた 森が響いていた 私一人が歌っただけで 人々はそう言う ナイチンゲールの美しい歌声を聞いて 靴下を履いて ナイチンゲールよ 牛の放牧に行きましょう うわみずぐらに歌を聞かせた 牛を追っている間に ? KAS DZIED?JA J?U NAKTI ? 夏至の夜に歌った人は ? 1 Kas 誰 dzied?ja 歌った J?u 夏至の nakti 夜に lai しますように dzied 歌う visu …? vasari?u 夏 Kas 誰 gul?ja 寝た J?u 夏至の nakti 夜に gul?s 寝るだろう visu …?中ずっと vasari?u 夏 ? 2 Visa すべての Z?le 草が Nozied?ja 咲いた Papard?te シダの Nezied?ja 咲かなかった T? それは Zied?ja 咲いた J?u 夏至の nakti 夜に Zelt?tiemi 金の Ziedi?iemi 花を咲かせて ? 3 J?u 夏至の nakti 夜に zelta 金の rasa 露 Tur そこで Aiti?as 羊が Mazg?j'si 水浴びをしていた Atver 開けて V?rtus 門を J?a ヤーニスの M?te お母さん Sa?em 受け入れて Savus 自分 J?a ヤーニスの b? rnuš? 子供たちを J?a ヤーニスの b? rnuš? 子供たちは nosaluš? 凍えた J?u 夏至の z?les 草を las?dami 集めながら ? 5 Visas すべての bija だった j?u 夏至の z?les 草 ko それを pl?c 刈った J?u 夏至の vakar?i 夜に visi みんな bija だった J?a ヤーニスの b? rni 子供たち kas 彼らは J?n?ti ヤーニスを daudzin?ja 褒めた ? 6 1の繰り返し ? 1??? 夏至の夜に歌った人は 夏中歌えばいい 夏至の夜に寝た人は 夏中を寝て過ごすだろう 2 の草も花を咲かせたけど シダは花を咲かせなかった でも夏至の夜に 金の花を咲かせた 3 夏至の夜には金の露 羊たちはそれで水浴び ヤーニスのお母さん 門を開けて ヤーニスの子供たちを受け入れる 4 こんばんは ヤーニスのお母さん ヤーニスの子供たちを待っていた ? ヤーニスの子供たちは 夏至の草を集めて 冷えちゃった 5 夏至の夜に刈った草は どれも夏至の草 ヤーニスを褒めた人は 誰でもヤーニスの子供 6? 1の繰り返し ? P72 Dziesmas teksta… .歌詞のリズムは、発音するリズムで Nosl?pumaini 謎めいて Mier?gi 落ち着いて Viegli 軽く Nedaudz skan?g?k もう少し響かせる Nepiespiesti 気軽に Klusu 静かに Pusbals? 半分の音量で ? P73 Braš?i 豪快に Viegli punkt?t? ritm? 若干メリハリを利かせたリズムで Ener?isk?k もっと力強く Piln? bals? 全音調で Pamaz?m arvien skan?g?k 少しづつ響かせていく Jautri 陽気に ?ircinoties いたずらっぽく Viegli, it k? bungojot 軽く、太鼓をたたくように lztur?t p?d?jo ska?u 最後の音をキープ ? P74 Pilnskan?gi 全音調で Ar jaunu sp?ku 新しい力を持って Svin?gi 祝うように Ener?iski 力強く Droš?i 堂々と Apliecinš?i 確認するように lztur?t p?d?jo ska?u, cik nepieciešams 必要なだけ最後の音をキープ ? P75 Priec?gi 喜んで Ra?ni Brav?r?gi 勇敢に ? P76 Sv?tku noska?? お祝いの気分で Nedaudz sal?ninot 少し遅く ? P77 Atkal s?kotn?j? temp? 最初のテンポに戻る Pamaz?m klusinot l?dz dziesmas beig?m 終わりまで少しづつ静かになっていく Pamaz?m att?linoties 少し離れていく Arvien nosl?pumain?k, mistisk?k だんだん謎めいて、神秘的に Sal?ninot 遅める L?n?k より遅く L?ni 遅く Izgaistot フェードアウト ? ?dens sauca, akmens vilka 水が呼び、石が音をたてていた? Rota??gi 遊ぶように T?š?m わざと s? du 私は座る upmal?je 川岸に upes 川の dziesmu 歌を klaus?jos 聞いていた ?dens 水が sauca 呼んでいた akmens 石が vilka 音をたてていた kraujmal?tis 岸が vizin?j(a) 光っていた visas すべての upes 川が klusu 静かに tec?j 流れていた Gauja ガウヤ川は Netec?j 流れていなかった skan? dama 音を出していた sidrabi?u 銀を sij?dam(a) 振るいにかけて sudrabi?a 銀の upe 川が tek 流れる caur …?を通じて za?oi 緑の priedul?j 松の森 v?l まだ b?'be 動詞 zelta 金の tec?juse 流れていた kaut …?も skuji?as 針葉樹 nebiruš?‘ 散っていない kas 何が kait?ja 邪魔をしていた nedz?voti 生きない! Gaujas ガウヤの l??u 湾曲の mali?? 端に baltu 白を vilku mugur?i 着た melnu 黒を m?rcu 漬けた ?den ? 水に vai …?か tie その m?su 私たちの l??i 湾曲が visi どれも liet?i よく neder?j' 役に立たなかった pati 自身 zeltu 金を nesa 運んでいた 川岸に座って 川の歌を聞いていた 水が呼び 石が音をたてていた 水で輝く岸辺 他の川は静かに流れるけど ガウヤは違う 銀を篩にかけるように 音をたてる 水が呼び 石が音をたてていた 他は川は静かに流れるけど ガウヤは違う 銀を篩にかけるように 音をたてる 水が呼び 石が音をたてていた 銀の川が緑の松林を通る 針葉樹が散ると 金の川になって ガウヤの岸辺では命を清めていた 白い服を着て 黒い服を溲す 蛇行するガウヤは役にたった 川は金を運んでいた 岸辺に銀を残して 水が呼び 石が音をたてていた ガウヤ川 : 全長452km、蛇行で有名 ? ?